



Succubus hypnosis

Wサキュバスの射蓄催眠 2



—前置き—

Wサキュ2サイドでございます。左開きのこちらからは、Wサキュ2の解説、裏話的なモノが読めるようになっております。前回のような設定資料集では無いですが、読み物として楽しんでもらえれば。冊子中央あたりのページは、催眠音声で理想的な環境で聴こう！的な特集もしております。併せて読んで頂き、リスナーさんのグッド催眠ライフの一助となれば幸いです。それでは、またあとがきで。



必要・推奨アイテム

(推奨) サテンロンググローブ

(参考) 尿道スティック

(参考) エネマグラorアナルパイプ

この音声はあくまでジョーク音声です。
実際に音声を聞いて行う場合は自己責任です。
いかなる問題が起こっても当方は一切責任を負いません。
全て自己責任で行って下さい。

また、公共の場で失禁する等の行為は
他人の迷惑になります。

絶対お 今回のWサキュ2ですが、推奨アイテムはありま
すが、必須アイテムはありません。

サテンロンググローブは、あると捗りますけどね。
ただ、サテンロンググローブを着けたまま尿道スティック
やエネマグラを扱うのは中々難しいかもしれません。
事前にぶっさしておくといいかもしいですが、相当な
熟練者でないと厳しいかもしれないですねー。

今回はドライ、ウェットと明確に規定してる訳ではない
ので、リスナーの皆さんが好きなように解釈してもらって
良いと思います。

尿道スティックぶっさしてのオナニーとか、ハマると危険
ですが楽しめるんじゃないですかねー。その際、ちゃんと
消毒等は完璧に行って下さいね。あくまで事故責任です。
エネも同様です。やめ下さい。
音声には全てベッド上で完結
する事前ファイルが用意され
ています。

作品のストーリー上、全て
の内容を収録していますが、
外出時の失禁を推奨するも
のではありません。

注意事項

Wサキュ2で力尽きそうになった話

いやー難産だったんですよ。まして。
先行して作っていたOMRSが思いの外、大作になってしまった関係で時間が押していたのと、本業の忙しさに加え、精神的に色々とまいっていたので酷い難産でした。
色々と妥協した部分が多いので、もしかすると差分を作るかもしれません。

シリーズ2作目ということで、けっこうプレッシャーもあったんですかねー。下手なもの出せないぞ、と。

自分は引き出しがかなり少ない方なんで、何か良いアイディアとかあったらいつでも送って下さい。大変喜びます。

当初、Wサキュ2は、何にも使わずにドライを目指す音声にしようと思っていました。それこそ、普通に囁き系ノーマル作品とかって感じに。それが書いてる内に、色々不安になり…。これでリスナーさん満足できるの？とか、もっと強烈なイメージが欲しいんじゃないの？と二転三転し、ご覧の有様になった次第で。

OMRSの時もそうだったんですが責め系エロパート書いてる時は本当に楽しいです。筆がノルのでつい書きすぎたりするのがイカンのですが。

まー、それでも楽しんで頂ければ制作者冥利に尽きます。
基本、同人は自分の好き勝手が最優先なんで、諸々付いていけない部分などあると思います
が、その辺は調教と思って頑張って付いてきて下さい（あれ？）





収録や編集について

声優さんは前作に引き続き東十条真里亜さんをお願いしておりますが、いかがだったでしょうか？

相も変わらず台本ギリギリで申し訳ありませんでした。それでもこちらの期待以上の素晴らしい演技で応えて下さり本当に頭が上がりません…。

収録の時の話ですが、微妙に変な固有名詞があるじゃないですか。

「おちんぼオナホ」だったり「犯されちんこ」だったり。

これ1ワードなんですけど、分かりづらかったようで…。まあ普通に考えたらそうですね。こんな造語中々見ませんし。

シリーズ2作目の今回はバイノーラル収録という事で、囁き&プレス&耳舐めに重きを置いて制作しています。

距離感やプレスによる物理的感触など、気合いを入れて調整しているので、その辺も楽しんでもらえると思います。

いやー、それにしてもバイノーラルの収録は大変っすねー。編集も中々難しく、定位の調整とかリスニング環境にかなり左右されるので、実際のところ、皆さんの環境でちゃんと聞けているかとても不安だったりします。

その関係もあって、今回の冊子ではオススメのリスニング機器の紹介を入れています。少しでも参考になれば良いのですが。

次回作はどーなの？

さて、世界観的なお話がまったく明かされないまま、次回作でフィナーレっぽいのですが、どうしましょかねえ…。

お話ストックはけっこうあるので、色々書きたい気もしますが、イラストをお願いしている「しき」さんが売れっ子なので、中々無理も言えない所がもどかしいです。

その前に、サキュバスアンソロ的な本出せたらいいなー。

これも、冬コミ～夏コミぐらいの長いスパンがないと作れないので、夏コミ終了後ぐらいから仕込みに入らないと厳しいんですよ。

ネタという意味では、まったくの白紙なので、何か良い案とかないでしょうかね？ 基本このシリーズはお手軽にドライ＆ウェットを体験できるようにしようと思ってたんですが、なんだかゴチャ混ぜ状態で一番カオスなシリーズになってしまっているかも…。

特にキャラが立ってる所為か、自分の意図してない方向に走り出しちゃうので非常に困りものです。その分とても愛着はありますが（笑）

という感じで、また次回Wサキュ3でお会いできると幸いです。



催眠音声に最適なリスニング環境を構築しよう！

ということ、今回はベスト（ベター？）環境で催眠音声を聴こう！という感じの内容でお送りしていこうかと。こちら（作り手側）が想定している環境をざっくりと紹介して、こういう風に聴いて欲しいなあという願望もちよつと入れていきます。導入しやすいように、大体1万円以下の機器を紹介しています。オーディオはお金かけだすと底なし沼なので、最初はこのぐらいが良いです。

PC&携帯プレイヤーで聴く場合の オススメセット

■オーディオインターフェース

これはオンボードからアナログ出力（ステレオピンジャックやRCAでアンプに繋ぐ、ヘッドフォンを繋ぐ）する人向けです。オンボードの音質に特に不満の無い人は追加で買う必要は無いと思います。

またオンボードのS/PDIFなどのデジタル出力でアンプ等に繋いでいる人も、別に買い増ししなくても良いです。また後述のヘッドホンアンプを購入予定の人も必要ないです。（デジタル入力対応のプリメインアンプ、ヘッドホンアンプを購入予定でオンボにデジタル出力が無い場合は選択肢に入ります）

CREATIVE

PCle SoundBlaster ZSB-Z

（参考価格：11000円程度）

SBの中でも比較的評判の良い機種。

24bit192kHz出力対応。

サラウンドの定位が安定してて良いらしいですヨ。

ASUS Xonar DSX

（参考価格：5100円程度）

安価でそこそこの音を出してくれるXonarシリーズの定番。

音質はオンボードから劇的に変わる訳じゃないけど、違いが分かるレベルで良くなります。

まずヘッドホンアンプってなんぞや？

スピーカーを鳴らすには、アンプが必要なのはご存じの通り（アンプ内蔵スピーカーって良く聴くでしょ）。スピーカーっていうのは、要は電気信号を物理振動に変換する機械だ。再生機器から出力される音（電気信号）は大変小さいので、スピーカーの振動板を震わせるにはちと弱い。そこでアンプ（信号増幅機）を作って電気信号を増幅させてやれば、デカイ音（振動）が出せるんじゃないかね？と。これは（ほぼ）同じ構造を持つヘッドホンにも言えることなんだけど、ヘッドホンはスピーカーより振動板が小さい分、信号が小さくてもそれなりの音は出るんだよね。でも、それだとヘッドホンの真価は発揮できない。100%しかエネルギーを得られてない状態のモノと、80%のエネルギーを得られているモノとでは、やはり後者の方が良い仕事をする。

そこで登場するのがヘッドホン専用のアンプだ。今まで十分なパワーを得られていなかったヘッドホンも、ヘッドホンアンプで信号を増幅してやれば、見違えるような音を出してくれるはずだ。（もちろんヘッドホンのポテンシャルによる所がデカいが）

ヘッドホンよりさらに小さい振動板を持つイヤホンも同じで、最近のミドルクラス以上のイヤホンも、技術の進歩でかなりのポテンシャルを秘めている。そのポテンシャルを存分に発揮させてやるのがヘッドホンアンプという訳。そこそこ良いヘッドホン、イヤホンを持つてゐる人は是非、ヘッドホンアンプを買って本来の力を発揮させてやって欲しい。

（かなりざっくりな説明だけど、分かりやすさを優先しているので許してね）

■ヘッドホンアンプ

基本的にヘッドホンで聴く事を前提にしているので（スピーカーで聴くことを推奨してるPNST¹は例外中の例外です）ヘッドホンアンプの紹介です。ただ、現状で音に不満が無いという人は、購入しなくても良い製品です。あくまで音質をクリアにしたい！という人向け。

FOSTEX PC100USB

（参考価格：6500円）

安価なUSB接続ヘッドホンアンプ。コスパ重視ですが、音質は悪くないし、最初を買うならコレ！という感じです。ただし16bit48kHzまでしか対応していないので注意です。

FiiO ANDES E07K

（参考価格：8500円）

ポータブルヘッドホンアンプでコスパの良いE07K。定評のあったE07の後継機で音質も値段以上です。これの良い所は、iPhoneやAndroid機に繋がられる点（iPhoneの場合、純正のUSBカメラアダプタ使用）。音質かなり変わります。こちらは24bit96kHz対応です。ハイレゾ音源対応って事ですね。同社製E12よりは価格的にもこっちを押します。

■イヤホン

これは趣味がかなり出る部分なので難しいのですが、まあ個人的なオススメということで。

ETYMOTIC RESEARCH hf5

(参考価格：7800円)

音質的には一番好みのhf5。如月はiPhoneでリモコン操作したいのでhf2を一時期使っていました(現在はJBL22iをソニー製イヤーチップに変えて使用。タフでそこそこの音質。壊れても痛くない)。他のダイナミック型イヤホンとは違いバランスドアーマチュア(いわゆるBA型)ドライバを採用しているので、ダイナミック型を使ってた人には、けっこう衝撃的な音質かもしれないです。問題になるのは三段キノコ型のイヤーチップ。耳穴が小さい人は最初はけっこう違和感or痛いかもしれないです。一応、フォームタイプ等2種類チップが付いてますが、3段キノコ型のイヤーチップでこそ実力を発揮するタイプなので、是非お店で試してみたら購入して下さい。イチオシ。

SHURE SE215

(参考価格：8400円)

遮音性、音質のバランスに定評のあるSE215です。ロットによっては断線しやすいという噂もありましたが、どうなのでしょうね？SHUREがけでタッチノイズも軽減できて、一般的にオススメの1本です。取りあえずこれ買っておけみたいな？

SENNHEUSER CX300II

(参考価格：5800円)

とても癖のあるCX300。ゼンハサウンドらしい繊細な音を鳴らしてくれます。イコライザーでの調整必須なので、中級者向けでしょうかね。ハマれば素晴らしいです。コスト的には抜きんでてるかも。ただ中華製の偽物が出回ってるので、ちゃんとした正規代理店や一般量販店で買うと良いと思います。

AKG IP2

(参考価格：6100円)

中域の伸びが良くボーカル物やボイスドラマを聴くのに適したイヤホンです。AKG信者なら買いです。モニター用のくせにAKGらしく作りが華奢なんですよねー。乱暴に使う人には向いてないです。

イヤホンに拘るなら、

イヤーチップにも拘ろう！

イヤーチップとは、カナル型イヤホンの耳の中に入れるゴムやウレタンの柔らかいパーツの事。こいつの役割はとても重要で、音質自体がガラリと変わるレベルの影響力を持つてるんですよ。耳の形は千差万別。自分の耳に一番フィットする形状、素材のモノを見つければ別次元の音を体験できます(誇張)まあそれは煽り過ぎかもしれませんが、けっこうそれに近い感じで劇的に変わるの、大型量販店などで色々試してみると良いかもです。

素材別の大まかな特徴としては
・ゴム製：ベストフィットさせると遮音性が素晴らしい。低音の迫力が増す。外の音が聞こえなくなるので危険。外すときちよつと痛い。
・低反発ウレタン：そこそこの遮音性。バランスの良い音になる(ドンシャリ感が若干薄れる)。耳が痛くなりくい。
形状もメーカーによって違うので、自分の使用するイヤホンに対応したイヤーチップの型番を控えてお店に行くと混乱しなくてすむかも。

AKG K451

(参考価格：7600円／密閉型)

AKGの密閉型で、iPhone用のリモコン付きという一品。AKGらしい繊細な高音と主張しすぎない低音、そして明瞭な中域と、

(音声作品を聴くなら)中々バランスが取れてるヘッドホンです。同社K172HD(約1万円)と比べると若干劣りますが、それでもiPhone等での使い勝手を考慮に入れるとオススメできます。

AKG K172HD

(参考価格：10600円／密閉型)

AKGの音を安価に聴きたいなら、これが1stチョイスになるんじゃないですかね。音の解像感やバランスなども高級ヘッドホン並みに良いです。(如月はAKG好きなので若干暴言目があります)

デザインもAKGらしいシルエットでヘッドバンドやハウジングなども一工夫されており、かなりフィットかつ聴き疲れしない作りになってます。文句なしにオススメです。

AKG K240 Studio

(参考価格：8000円／開放型)

ここから開放型のヘッドホンです。AKGはオープンエア(開放型)でこそ本領を発揮できると思ってます！ AKGのヘッドホンというと、けいおん！で有名になったK701がありますが、どれも繊細で整ったAKGらしい音を鳴らしてくれます。(如月はK501をディスコンになるまで3台使い潰すぐらい好きです) K240もご他間に漏れず、きっちり鳴ってくれますが、真価を発揮させるにはヘッドホンアンプを使って駆動させてあげてください。

AUDIO TECHNICA ATH-AD500X

(参考価格：10200円／開放型)

オーテクはあんまり聴いたことないんですが、付け心地はとても良いと思います。起毛を使ったイヤークッションは癖になる心地良さ。音もこのクラスでは平均的でその無い感じで鳴らしてくれます。出来れば試聴してから購入を検討してください。

■ヘッドホン

イヤホン同様かなり趣味が出る上に、側圧の問題もあるので、その辺参考に。量販店などで試聴してから買いましょう。

SHURE SRH440

(参考価格：7500円／密閉型)

その無い音作りでモニターにも使用可能なSRH440。このクラスのSHUREなんで若干取り扱いに注意です。ナイーブなので。後、ちょっと重たいので長時間がつり聴くのには不向きな人もいるかも。側圧はほどほどです。(頭の大きさは普通ぐらい？を想定します)

KOSS PRO/3AA

(参考価格：6500円／密閉型)

KOSSの低価格モニター用ヘッドホン。ボーカルや音声作品聴くには良いバランスです(低音、高音が主張しない)。遮音性の高いイヤークッションなので、音漏れ少なく、外音も気になりづらいです。SHURE同様、若干華奢な作りなので取り扱い注意。製品寿命は1~2年と考えておくと幸せになれるかもしれない。KOSSの音が好きならという感じ。

KOSS PRO/4AA

(参考価格：8200円／密閉型)

KOSSで予算が許すならこっちの方が圧倒的にオススメです。オシャレだし。音質は明瞭でとても伸びのある中域が音声作品にピッタリ。ただし注意点が2つ。ちゃんとしたヘッドホンアンプで駆動してやらないと魅力半減です。後、すげー重い(600g)。そういう意味ではあまり動きのない音声向けという感じですね。まじ重いんで必ず試してから購入するように。

MARSHALL MAJOR

(参考価格：8000円／密閉型)

オシャレヘッドホンその2。iPhoneのリモコン付きです。イヤークッションが四角く、柔らかで長時間のリスニングにも堪えるヘッドホンです。マーシャルらしいメリハリの効いた元気な音で、聞き手を選ばないのも嬉しい所(個人的な感想です)。まー、この価格帯は良いモノ揃ってるのでデザインで買うというのも手です。

ヘッドホンの密閉型、開放型って？

大まかに言うと、
密閉型は音漏れしにくい（遮音性が高いので外の音を拾いにくい）・蒸れる・低音の迫力が違う（ヘッドホンにもよるが）
開放型は音漏れしやすく・比較的蒸れにくい（多少は蒸れる）・高音が繊細（音のヌケが良い）・空間把握がしやすい・低音がスラスカになりやすい
かなーり、大雑把ですが傾向的にはこんな感じ。異論は認める。

ALESSANDRO Music Series ONE

（参考価格：9800円／開放型）

ドンシャリ傾向の強いヘッドホンですが、中域もきっちり鳴ってくれるので、中々に侮れない感じです。定位が比較的掴みやすく、サラウンドなどで威力を発揮するかもしれません。あとオサシなんで、デザイン買いもあります。

PRESONUS HD7

（参考価格：6800円／開放型）

一時期、プレソナスのオーディオインターフェースに無料で付いてきたので、意外に持ってる人多いかも？ けっこうフラットに鳴ってくれるので（AKGに若干近い音作り）、長時間聴いても疲れにくいです。解像感申し分無いし、価格を考えると非常にコスパが良い優等生的なヘッドホンだと思います。ただし、質感は見た目どおりのプラスチックなので、高級感はありません。

中華製よりオーストリア製ののが高品質だったり、ロットによって様々なバラつきがあるので、十分調べてから買うと良いと思います（ボソ

価格帯が上がると開放型の方が増えていくのは、より高音質を求めるなら構造上、開放型の方が有利な為。密閉型が劣っている訳ではないので注意です。

という事で催眠音声を聴く場合、音に集中したいなら密閉型がオススメです。

ただ、昨今流行のバイノーラルや3D以上のサラウンド音声を楽しみたい場合は、より定位を掴みやすい開放型ヘッドホンの方が良い場合もあります。

録音機器の進歩により、安価にバイノーラル（その殆どは疑似バイノーラルですが）システムが組めるようになってきたので、1本開放型のヘッドホン持つてると幸せになれるかもしれないですね。